

発 言 通 告 書

発言者氏名	井口一彦
発言の会議	平成29年 9月27日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	<u>一 括</u> 、一問一答
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 給食センターの施設整備と活用方法について

(1) 給食センターは長期間の使用を前提としているが、将来の生徒数の減少により施設の能力が余剰となることが想定される。また、学校給食は平均して年間 190 日の稼働であり、残りの日数をどのように利用するかという課題がある。そこで、以下の項目について伺う。

ア 小学校給食を給食センターで対応する考え方を今後の施設利用の検討に取り入れていく可能性はあるのか。

イ 日常の余剰能力を高齢者への配食等にも活用する検討を行うのか。

ウ 施設の一般開放や見学施設の充実など、来場者向けのサービスをどのように考えているか。

エ 災害時の炊き出し機能についてどのように考えているか。

(2) 災害時でも機能するように整備するには、熱源としてLPガスを確保しておく必要があると考える。

ア 災害時にも給食センターが機能するために、どのように整備し、活用するのか。

- (3) 公共施設マネジメントの観点から、給食センターを「行政サービスの提供拠点」と捉える必要があると考える。そのためには、多くの関連する部局や民間事業者との横断的な話し合いと高い意見調整能力が求められている。

ア 柔軟な取り組みと大胆な施設整備の発想を期待するが、市長の意気込みはいかがか。

2 横須賀市歌について

- (1) 昨年の第3回定例会での私の質問への答弁を踏まえて、市内の公式な場で市民が市歌を歌う機会や耳にする機会はふえたのか。
- (2) 市長にとって市歌はどのような存在か。
- (3) 協調と連帯を図るために市歌をどのように活用するのか。